



平成 17 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
代表者名 代表取締役社長 阿南一成
(J A S D A Q ・ コード 6 4 2 5)
問合せ先 取 締 役 堀 義人
電 話 03-5530-3055(代表)

当社子会社（株式会社セタ）の中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社セタは、平成 17 年 5 月 13 日付同社「決算短信」及び同日付「個別財務諸表の概要」にて発表いたしました同社の平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の中間期及び通期業績予想につきまして、別添資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、当社の連結業績予想につきましては、現在策定中でありますので、確定次第発表させていただきます。

以 上

平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)、特別損失の発生及び業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ

平成17年8月8日

会社名 株式会社 セ タ
(URL <http://www.seta.co.jp/>)

(JASDAQ・コード番号: 4670)

問合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 河合 宏昌
責任者役職・氏名 経営企画室長 田中 宗一郎 (TEL: (03) 3599-2520)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
内容: 有価証券の時価評価、引当金、税効果および法人税の計上基準等について一部簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第1四半期	445 (59.8)	318 ()	325 ()	326 ()
17年3月期第1四半期	278 (0.4)	137 ()	149 ()	149 ()
(参考)17年3月期	2,971	278	251	66

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	33 43	
17年3月期第1四半期	15 35	
(参考)17年3月期	6 86	

(注) 期中平均株式数(連結)

18年3月期第1四半期 9,757,595株 17年3月期第1四半期 9,760,617株 17年3月期 9,759,174株

四半期財務・業績の数値は監査法人による監査を受けておりません。

()内のパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の売上高は、前年同四半期と比較し166百万円増加し、445百万円となりました。これは主に前年度に契約したナスカ株式会社(以下「ナスカ社」という)向け製品の納品が一部当期にずれ込んだことによるものです。セグメント別では、遊技機関連事業が343百万円、ゲーム機器関連事業が47百万円、通信関連事業が54百万円となっております。

一方、売上原価は、開発費や設備投資の償却が開始したことによる増加と、製品の精度向上や生産性向上のための追加原価等が発生したため、前年同四半期より大幅に増加し、442百万円となりました。

また、販売費及び一般管理費については、初期導入店舗での作動状況確認のための費用が発生したことや、第2四半期以降スタートする直販体制を確立するための人員増強や営業拠点設置に関わる費用等が発生したこと及び研究開発費が増加したため、前年同四半期より大幅に増加いたしました。

以上の結果、営業損失は318百万円、経常損失は325百万円、当期純損失は326百万円と、増収減益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	3,904	911	23.3	93 40
17年3月期第1四半期	2,316	1,023	44.2	104 86
(参考)17年3月期	4,205	1,237	29.4	126 85

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、平成17年3月期末に比べ301百万円減少し、3,904百万円となりました。現金及び預金は306百万円増加し、第2四半期以降の販売に向け、たな卸資産が541百万円増加しましたが、ナスカ社向け売上債権の回収により、受取手形及び売掛金は1,073百万円減少いたしました。固定資産は取得が15百万円ありましたが、償却が進んだため、43百万円減少いたしました。

負債は、平成17年3月期末に比べ25百万円増加し、2,992百万円となりました。短期借入金は360百万円減少いたしました。資金の安定化をはかるため、社債を500百万円発行しました。

以上の結果、株主資本は、911百万円となりました。

3. 平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1) 連結業績予想

<中間期>(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	1,067	447	573
前回発表予想(B)	1,772	28	22
増減額(A-B)	705	475	551
増減率	39.8%	-	-
(参考)17年3月期中間期実績	899	132	176

<通期>(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	4,513	251	15
前回発表予想(B)	4,890	435	332
増減額(A-B)	377	184	317
増減率	7.7%	42.3%	95.5%
(参考)17年3月期実績	2,971	251	66

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 1円 53銭

(2) 個別業績予想

<中間期>(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	1,038	453	578
前回発表予想(B)	1,743	24	26
増減額(A-B)	705	477	552
増減率	40.4%	-	-
(参考)17年3月期中間期実績	875	140	184

<通期>(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	4,456	239	4
前回発表予想(B)	4,827	425	323
増減額(A-B)	371	186	319
増減率	7.7%	43.8%	98.8%
(参考)17年3月期実績	2,917	229	45

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 0円 40銭

[業績予想に関する定性的情報等]

<セグメント別概況>

遊技機関連事業

プリペイドカードシステム関連製品のラインナップが、パチンコ用・パチスロ用それぞれ紙幣搬送型、紙幣収納型と充実したことにより、自社ブランド製品の直販体制を全国規模で立ち上げることといたしました。

本年6月から直販営業体制の増強をはかっており、当業界に精通した専務取締役営業本部長をはじめ、既に20名以上の営業要員の採用をおこなっております。また8月上旬には、全国に9ヶ所の営業拠点の開設が完了いたしました。

営業体制増強の効果は着実に実績に結びついており、前期末時点での当社プリペイドカードシステムへの加盟店舗数は約60店舗でしたが、当期に入り新たに30店舗以上の加盟が確定しており、今後も着実に増加が期待されます。

しかしながら、OEM供給中心の販売から直販体制への切り替えに約3ヶ月間の期間を要し、当初計画より若干の遅れが生じております。また、生産委託先の生産能力の関係から、上期は納期変更も含めた販売計画の見直しを行わざるを得ない状況となっております。

従って、期首に作成した業績予想より、当事業の売上高は約190百万円減少する見込みとなりました。

ゲーム機器関連事業

本年6月に、開発期間が平成18年4月までとなっているXbox360向けゲームソフトに関わる開発受託が決定いたしましたので、ゲーム機器関連事業の当期の業績目標は、達成する見込みとなっております。

今後とも最先端のゲーム開発に携わり、更なる技術力の向上やノウハウの蓄積を行い、収益の拡大をはかってまいります。

通信機器関連事業

IP電話向けSIPサーバー「BaMBooLink」の開発は完了し、「BaMBooLink」に接続する携帯端末の認証も上期中に取得できる見通しとなりました。

現在大手販売代理店と販売条件等具体的な交渉を行っておりますが、販売開始時期が当初計画より遅れ、9月となる見込みであり、当事業の売上高は、期首に作成した業績予想より約200百万円減少する見込みとなりました。

<特別損失の発生>

減損会計の適用

当期より固定資産の減損会計が強制適用となりますが、それに従い当社の固定資産を再評価した場合、特別損失が発生する可能性がでてまいりました。金額については、今後第三者の鑑定評価等により算定いたしますが、今回業績予想の中で約80百万円を織り込むことといたしました。

たな卸資産評価損の発生

前期から当期にかけて行ったOEM供給や、自社販売の拡大により、生産量が大幅に増加いたしました。が、量産化に適さない一部の部品等に関し、今後の品質の安定化をはかるため設計変更や仕様変更を行いました。その過程で、取り外し部品や生産途中で加工を中止している仕掛品が発生しております。

補修や改造により使用可能なものは使用いたしますが、補修・改造するよりは新たに生産したほうがコストダウンになるものもあり、今後選別を行ってまいります。今回業績予想の中では評価損として150百万円を織り込むことといたしました。

以上の要素や第1四半期で売上原価及び販売管理費が増加したことを鑑み、平成17年5月13日付け「決算短信」及び「個別財務諸表の概要」にて公表いたしました業績予想を修正することといたしました。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表
2. (要約) 四半期連結損益計算書

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第1四半期	前年同四半期	増 減		前連結会計年度
	(平成17年6月30日)	(平成16年6月30日)	金 額	増減率	(平成17年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	%	金 額
(資産の部)					
流動資産	3,078,579	1,533,771	1,544,808	100.7	3,343,386
1. 現金及び預金	738,865	25,941	712,923	2,748.1	432,451
2. 受取手形及び売掛金	242,273	134,234	108,039	80.5	1,316,169
3. たな卸資産	1,957,149	1,169,957	787,192	67.3	1,415,220
4. その他	140,290	203,637	63,347	31.1	179,545
固定資産	819,051	783,107	35,943	4.6	862,124
1. 有形固定資産	489,792	421,470	68,321	16.2	507,657
(1) 建物及び構築物	89,551	94,028	4,476	4.8	91,061
(2) 機械装置及び運搬	931	81	850	1,048.5	1,035
(3) 工具器具備品	194,131	122,184	71,947	58.9	210,382
(4) 土地	205,177	205,177	0	0.0	205,177
2. 無形固定資産	279,027	268,387	10,639	4.0	304,872
(1) 営業権	122,178	154,758	32,580	21.1	130,323
(2) ソフトウェア	154,155	110,935	43,220	39.0	171,856
(3) その他	2,693	2,693	0	0.0	2,693
3. 投資その他の資産	50,232	93,249	43,017	46.1	49,594
(1) 投資有価証券	4,293	4,168	125	3.0	4,293
(2) 延滞債権	96,055	98,555	2,500	2.5	96,055
(3) 長期前払費用		31,818	31,818		8
(4) 差入保証金	40,837	57,077	16,240	28.5	40,191
(5) その他	5,101	185	4,915	2,656.9	5,101
(6) 貸倒引当金	96,055	98,555	2,500	2.5	96,055
繰延資産	6,695		6,695		
(1) 社債発行費	6,695		6,695		
資 産 合 計	3,904,326	2,316,878	1,587,447	68.5	4,205,510

科 目	当第1四半期	前年同四半期	増 減		前連結会計年度
	(平成17年6月30日)	(平成16年6月30日)	金 額	増減率	(平成17年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	%	金 額
(負債の部)					
流動負債	2,488,539	1,220,009	1,268,529	104.0	2,962,194
1. 支払手形及び買掛金	1,253,278	327,773	925,504	282.4	1,112,584
2. 短期借入金	1,162,000	766,904	395,096	51.5	1,522,000
3. 未払金	28,628	39,271	10,643	27.1	73,088
4. その他	44,632	86,060	41,427	48.1	254,521
固定負債	504,339	73,386	430,953	587.2	5,587
1. 社債	500,000		500,000		
2. 長期借入金	3,004	72,102	69,098	95.8	4,252
3. 繰延税金負債	1,335	1,284	51	4.0	1,335
負 債 合 計	2,992,878	1,293,396	1,699,482	131.4	2,967,781
(資本の部)					
資 本 本 金	1,894,975	1,894,975	0	0.0	1,894,975
資 本 剰 余 金	2,222,205	2,222,205	0	0.0	2,222,205
利 益 剰 余 金	3,204,484	3,095,096	109,387	3.5	2,878,301
その他有価証券評価差額金	1,946	1,871	74	4.0	1,946
自 己 株 式	3,193	472	2,721	576.7	3,095
資 本 合 計	911,447	1,023,482	112,034	10.9	1,237,729
負 債 ・ 資 本 合 計	3,904,326	2,316,878	1,587,447	68.5	4,205,510

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第1四半期	前年同四半期	増 減		前連結会計年度
	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	金 額	増減率	(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	%	金 額
売上高	445,000	278,550	166,450	59.8	2,971,475
売上原価	442,104	177,841	264,262	148.6	1,708,920
売上総利益	2,896	100,708	97,811	97.1	1,262,554
販売費及び一般管理費	321,773	237,998	83,775	35.2	983,716
営業利益又は営業損失()	318,877	137,290	181,586		278,838
営業外収益	2,515	2,009	506	25.2	8,399
営業外費用	9,231	13,925	4,694	33.7	35,565
経常利益又は経常損失()	325,593	149,206	176,386		251,673
特別利益					2,585
特別損失		49	49		185,860
税金等調整前四半期純損失 ()又は当期純利益	325,593	149,256	176,336		68,397
税金費用	590	573	17	3.1	1,430
四半期純損失()又は 当期純利益	326,183	149,829	176,354		66,966